

1. 科目名 (単位数)	英語学 I (英語の歴史) (2 単位)	3. 科目番号	EDEN3307
2. 授業担当教員	坂井 二郎		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、グループ発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	教育学部 3, 4 年次学生対象		
7. 講義概要	本講座の目標は、中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する英語学的知見を身につけることにある。現代英語を学ぶ・教える上で、英語の辿ってきた歴史を知っていることは重要である。この科目では、現代英語が成立した経緯を学び、国際共通語としての英語の実態を概観する。特に、古英語、中英語、近代英語までの変遷が現代英語の語彙、つづり字、発音、文法にどのような影響を与えているかに注目する。最後に国際語としての現代英語の実態と変遷の歴史を基に英語の未来について考察し英語教員としての知見を養う。		
8. 学習目標	1. 現代英語が成立した歴史の変遷や経緯について概観することができる。 2. 英語の変遷が現代英語の語彙、つづり字、発音、文法に与えた影響について理解できる。 3. 国際共通語としての現代英語の実態について理解し英語の未来について考えることができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題は毎回の授業内容に関し概要をまとめ対面の場合は用紙に記載し提出する。オンラインの場合は、チャットに書き込み提出することを表す。なお課題は毎回授業内に提出し各自に口頭発表してもらう。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 寺澤盾『英語の歴史—過去から未来への物語』中央公論新社。 【参考書】 中尾俊夫、他『図説 英語史入門』大修館書店。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 現代英語が成立した歴史の変遷について概観することができたか。 2. 英語の変遷が現代英語の語彙、つづり字、発音、文法に与えた影響について理解できたか。 3. 国際共通語としての現代英語の実態について理解し英語の未来について考えることができたか。 ○評定の方法 グループ学習への参加度・貢献度 30% 課題・提出物 30% 試験(小テスト・口頭発表等) 40%		
12. 受講生へのメッセージ	1. 英語学の基礎をなす英語史について学習しますので学習したことは必ず確認し、疑問やわからないことはそのままにせず、些細なことでも気軽に質問してください。 2. グループワークを授業内に行った場合は積極的に発言し参加すること。 3. オンラインで授業参加する場合はカメラは必ずオンにしてください。		
13. オフィスアワー	初回授業時に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	「英語の歴史」とはなにかをシラバス、教科書の「まえがき」と「目次」を読んで、科目全体の学習内容と到達目標の確認を行う。	事前学習	教科書の「まえがき」と「目次」を読み授業の内容について確認する。
		事後学習	シラバスと授業ノートを基に、科目の概要と到達目標を再確認する。
第 2 回	国際語としての現代英語の現状について概観する (第 1 章 : pp. 3~18)。	事前学習	第 1 章を読み、国際語としての英語の現状についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第 3 回	英語のルーツについて考察する。特に英語の属した「語族」から英語のルーツについて考える (第 2 章 : pp. 19~36)。	事前学習	第 2 章を読み、英語のルーツについてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第 4 回	英語史の各時期の語彙と文法の歴史的変化について概観する (第 3 章 : pp. 36~50)。	事前学習	pp. 36~50 を読み、英語史の各時期の語彙と文法の歴史的変化についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第 5 回	古英語期の語彙の変化について概観する (第 3 章 : pp. 50~61)。	事前学習	pp. 50~61 を読み、古英語期の語彙の変化についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第 6 回	中英語期の語彙の増大について概観する (第 3 章 : pp. 61~74)。	事前学習	pp. 61~74 を読み、中英語期の語彙の変化についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第 7 回	近代英語期の語彙の増大について概観する (第 3 章 : pp. 74~94)。まとめテスト 1	事前学習	pp. 74~94 を読み、近代英語期の語彙の変化についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第 8 回	第 1 章~第 3 章について確認・整理してのまとめを行い英語教育への活用について考える。	事前学習	第 1 章から第 3 章までの内容を教科書とノートで再確認し、英語教育への活用について考えておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第 9 回	つづり字と発音の歴史的変化について概観する (第 4 章 : pp. 94~114)。	事前学習	pp. 94~114 を読み、つづり字と発音の歴史的変化についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。

第10回	文法の歴史的変化について概観する（第4章：pp. 114～134）。	事前学習	pp. 114～134を読み、文法の歴史的変化についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第11回	近代英語期以降の英語の拡張と多様性について概観する（第5章：pp. 135～146）。	事前学習	pp. 135～146を読み、近代英語期以降の英語の多様性についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第12回	現代英語における語彙の変化について概観する：科学技術の進歩と環境運動から生まれた新語について（第6章：pp. 147～167）。	事前学習	pp. 147～167を読み、科学技術の進歩と環境運動から生まれた新語についてノートにまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第13回	現代英語における語彙の変化について概観する：差別撤廃運動から生まれた新語について（第6章：pp. 168～188）。	事前学習	pp. 168～188を読み、差別撤廃運動から生まれた新語についてノートにまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第14回	英語の未来について考える（終章：pp. 189～199）	事前学習	pp. 189～199を読み、英語の未来についてノートに重要点と疑問点をまとめておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。
第15回	第1章から終章までのまとめ：英語教育における英語の歴史の知見の意義を考える。まとめテスト2	事前学習	教科書とノートを振り返り、英語教育にどのように英語の歴史の知識を活用できるか考えておく。
		事後学習	授業内容を振り返り、重要点を再確認し、疑問点が解決したか確認する。